

第2回三芳町まちづくりワークショップのまとめ



伸ばすところ

高齢者による厚生施設のうち、ふれあいセンターは廃止して、エコパをもっと利用しやすいようにしてください	若い世代が増える町にするための工夫を	高齢大学 母も入っているがとても楽しそう
公共施設利用者間の世代間交流	良い歯の子供たちが多いので、良い歯の学校の周知をする	高齢大学
世代間交流の拡大	生涯学習の充実	高齢者の生きがいづくり
児童虐待防止のためのネットワークの充実(各関係機関との)	保育園の給食が良い、美味しい	公共施設のバリアフリー化 ユニバーサルデザインの推進
	ファミリーサポートセンターの充実	学童保育質のさらなる充実 ・数 ・場所
	児童館活動を発展させる	
	各区の集会場の有効利用	

変えたいところ

医療費の削減(治療よりも)健康教育を増やす	高齢者が交流の為、簡単に行ける施設が欲しい	保育・児童サービス ・施設っぽい施設をやめたほうがよい ・感性をのばす ・環境・施設を整える	子育て支援センターを増やす
医療費抑制のための健康づくり支援	保健予防をもっと手軽に相談できるようにしてほしい	施設 町民が集う場所をいうことで、例えば公園という発想 ただ公園をつくれればよいのではなく、外部の力を借りて素敵なものをつくる	保育園を増やす
8020(80歳で20本の歯を残そう)健康寿命を考える	健康調査を実施してほしい ・どのような層が国民健保を多く利用するか、その反対はどうか ・その理由	地域の交流	
医療受診の適正化	もっと他の自治体の動向を調査して、良いところは取り入れる工夫してほしい	体育館以外のスポーツ施設の充実	施設の統合
認知予防の脳トレ教室を作してほしい		健康増進のためのウォーキングコースの提案・整備	ひとり親家庭の支援
患者・医師・町・保健所との関係性の密なる連携			
	地域の高学歴(専門分野)の高齢者の活用		
	地域サポートの理解と拡大		
	高齢者活動		
		食育	食生活の指導

やるべきこと・将来像

家庭の調査権が(町に)ない	健康寿命の高い町
困った時、苦勞している人、いじめ等を発見した時の相談場所	子供から高齢者・障がい者も健常者も安心できる町・福祉のまち
第三者委員制度の確立	
高齢者の認知予防の脳トレ教室を開いて欲しいです	
脳トレ教室要望 65歳以上週1回20回コース、国語・算数2~3年生用 国語は簡単な文章音読 算数は計算問題 百までの数字コマを並べ、タイムを計ってコマ並べトレーニング その後30分ほどの軽い運動	

伸ばすところ・変えたいところ

やるべきこと・将来像

教育サポート

- 保健センター開催のパパ・ママ支援
- 子どもが少ないので教育環境をフルに使う
- 学校、細やかな指導、補助教員等
- 福祉教育の充実

ボランティア支援

- 高齢者福祉の民間(ボランティア)サポート支援
- 子どものジュボラ(ジュニアボランティア)制度はとも良いさらに活動機会を広げて欲しい

成年後見人制度の普及実践

サポート・交流・連絡体制

- 児童虐待のない みんなで見守れる地域住民との関係作り
- 高齢者や育児放棄(ネグレクト)されている疑いのある場合どこへ連絡をとったりいいかをわかりやすくして事前予防する
- 高齢者が安心して住める町
- 世代間交流の一層の努力をしてほしい
- 高齢者ひとりで出歩きにくい
- 認知症に関する認識の普及と改善
- 〈子育て支援〉母子家庭の子どもが不幸せにならないような対策の整備
- 老人の一人暮らしでも安心してすごせる環境・バックアップ体制作り
- 地域サポート体制の再編

やるべきこと

- 福祉センターの建設
- 高齢者の方の活動範囲の拡大と充実
- 福祉対策の充実(財源があれば)
- 子育て支援と高齢者支援の協調
- 高齢大学を高齢育成大学に名称の変更

インフラ・施設

- 児童館で行っている平日の子ども遊び場の提供
- 障がい者の住みやすいインフラの整備
- 保健施設の充実
- 高齢者施設の充実
- 現行ふれあいセンターの福祉施設があります。耐震の関係で2年使用が限度 総合福祉施設の検討
- 福祉施設の見学の推進
- 住民がどの施設も見学できること
- 子育てと就労がバランスよくできる環境づくり
- 地域ごとの公民館・児童館があるところが良い
- 身近に子供が集える場所がある 児童館等
- 女性が働きやすい社会のため、保育施設の充実を図る
- 地域住民と職員が連携した活動の充実
- 保育施設の民営化

子どもの町政への関心

子どもたちに町政への関心や理解の機会を設ける
各中学生徒会やリーダーによる「子ども議会」の開催
将来の町をどうしていきたいかを議論してらう

高齢者の活躍・ボランティア

- 地域に貢献できる元気な高齢者の町

雇用

- 雇用できる企業の誘致

子どもの医療費

- 医療費の補助
- 医療費 子どもに医療費がかからない

将来像

誰もが安心して暮らせる町

誰もが安心して暮らせる町

伸ばすところ・変えたいところ

企業誘致による財政力強化

人？推進
日常に直結したPRが必要

・外国人支援・交流
・日本語支援
・子供支援

地域のイメージ
伸ばすところ
・緑豊かなところ

地域イメージ
一生住んでいたいと思う町

もっと町外向けのホームページの作成を

人権尊重やさしさ
町の核づくり

公共交通
町を案内する巡回バスを設置し日常利用

公共交通対策
伸ばすところ
デマンド交通の内容充実

デマンド交通の拡大(増車)

ライフバスの回数が少ない(時間帯・回数)

役場を中心とした町づくり

情報接触度が少ない

行政サービスの広域化

財政力をつける

情報管理IT化

活力のない町

交流と定住の促進
↓
観光
30~40代の囲い込み

広域行政(合併)による財政見直し

人が集まらない町
↓
賑わいの感じない町
経済力の停滞

商品購入意欲拡大？

地域拠点施設の整備

都心に近い
公害のない町

シンボルとして独自のイベントを企画する

図書館の充実施設が狭い

魅力度が薄い

住みたくなる町
住んでみたい町
活力のある町づくり

観光意欲度が低い
↓
金が落ちない

「クオリティオブライフ」を目指す

歩道整備

認知度が低い
↓
イメージが希薄

地域のイメージ変えたいところ
公園が少ない

図書館のまわり
公民館
住民の集まる場所を一か所に

変えたいところ
バス路線を増やす
本数を増やす

道路幅員の拡大

道路網の整備

駅がないので、練馬～東所沢までの地下鉄延伸構想を三芳まで延伸させるように

伸ばすところ
緑は現状
雑木林の保存

三芳町に駅がないので地下鉄を延伸して駅をつくる

やるべきこと・将来像

将来像

優良企業等の誘致により財政力を強化する

企業誘致を推進して税金を増やす

〈行政情報〉
①三芳町のホームページをもっと町外向けに力点を置いて編集をして下さい
②ライフバスを本数を増やして町民の足として下さい

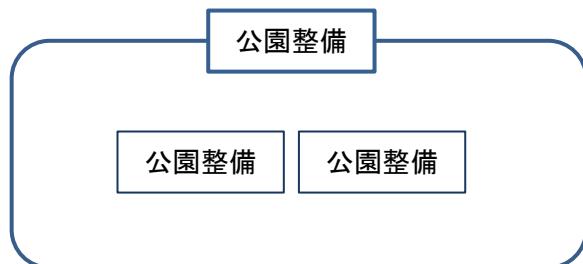
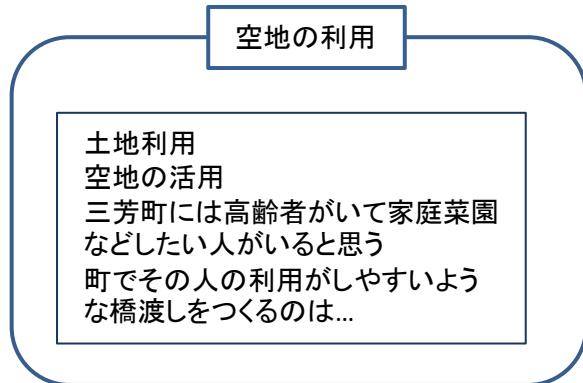
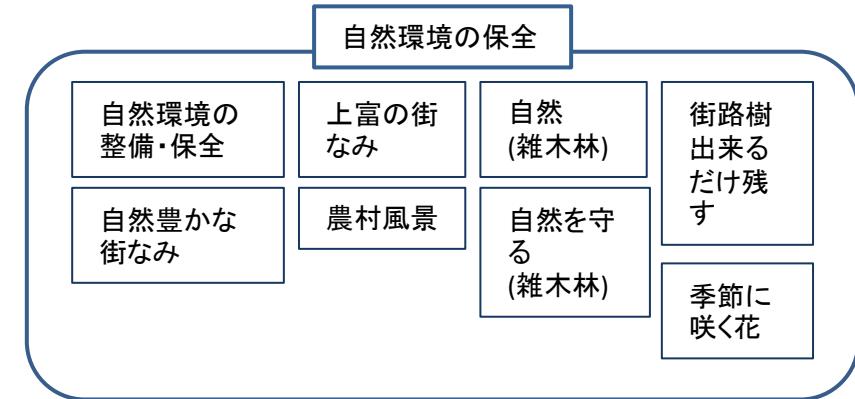
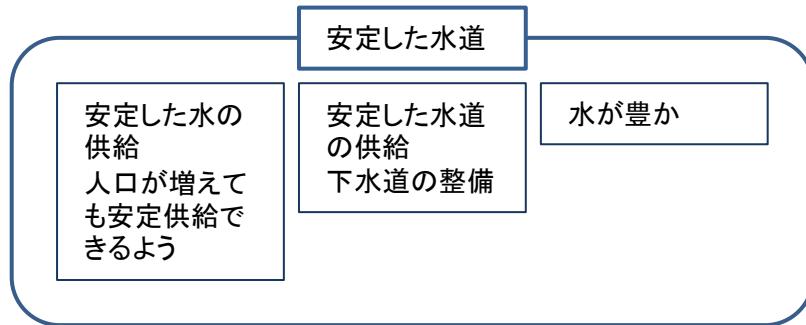
人的資源
全分野に共通するマンパワー作り

行政運営に住民の意見を取り入れ、協働してまちをつくる

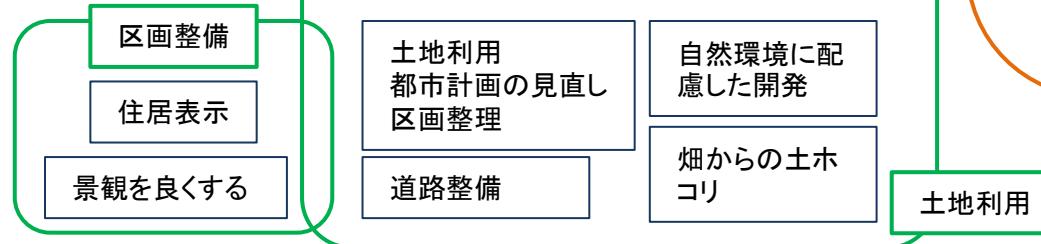
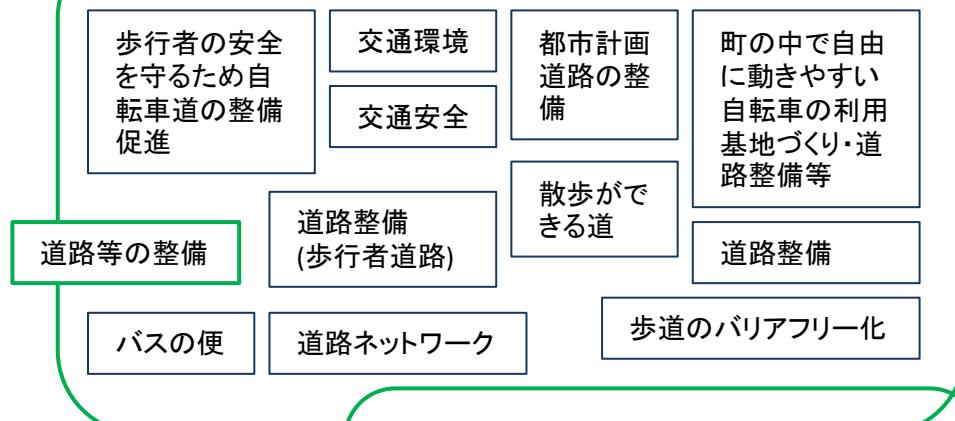
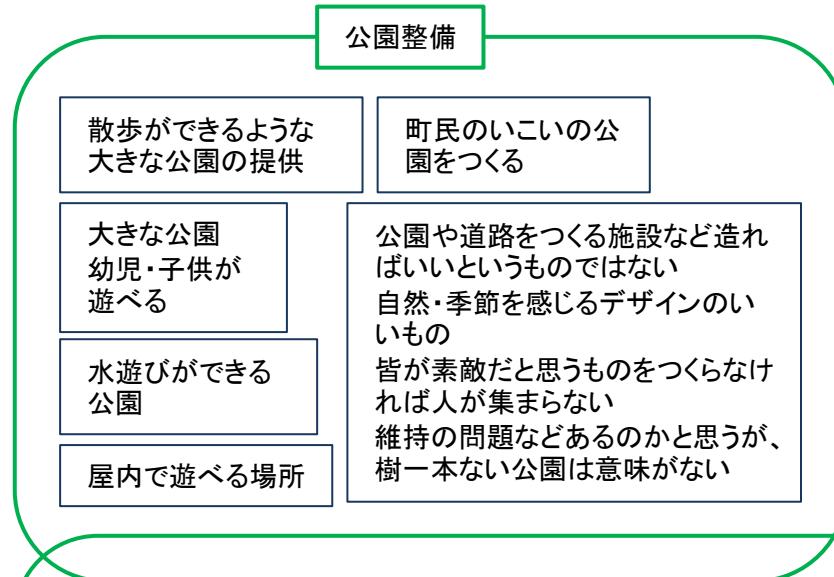
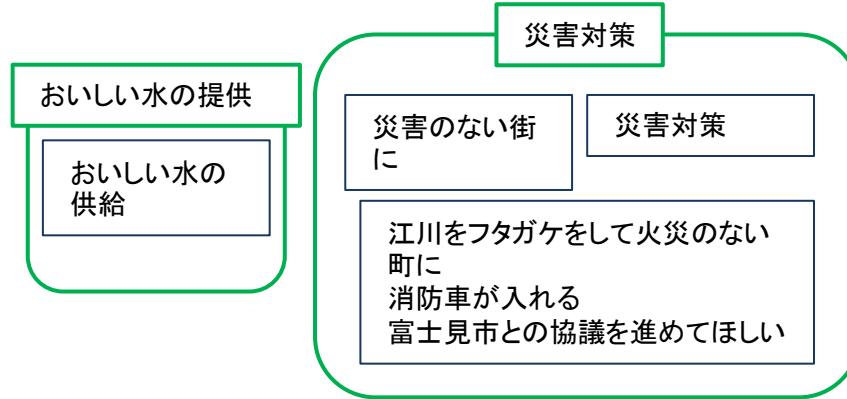
持続可能なコンパクト三芳町

都市基盤整備分野 第4班

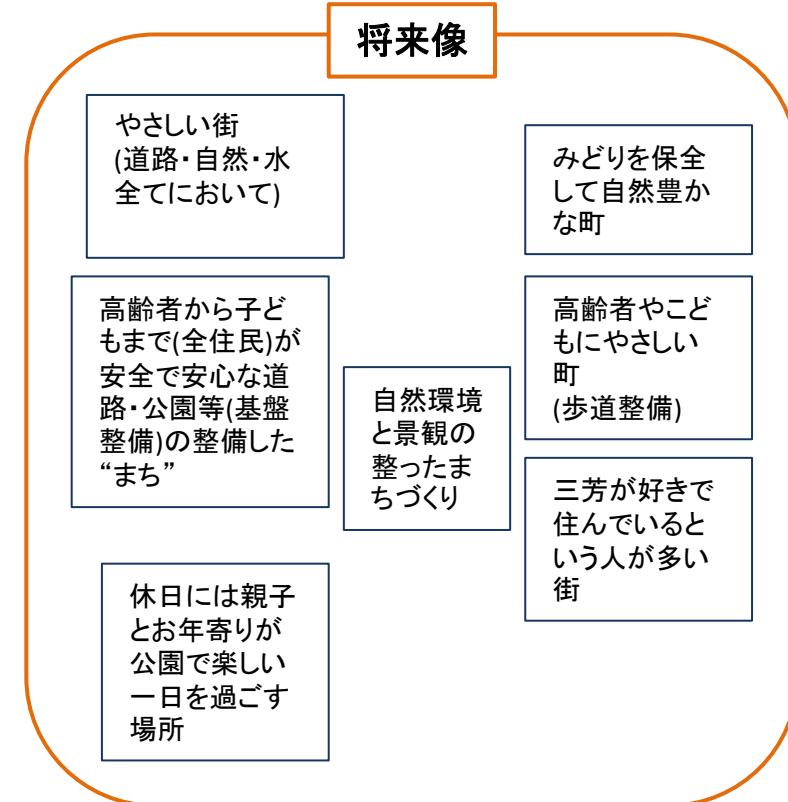
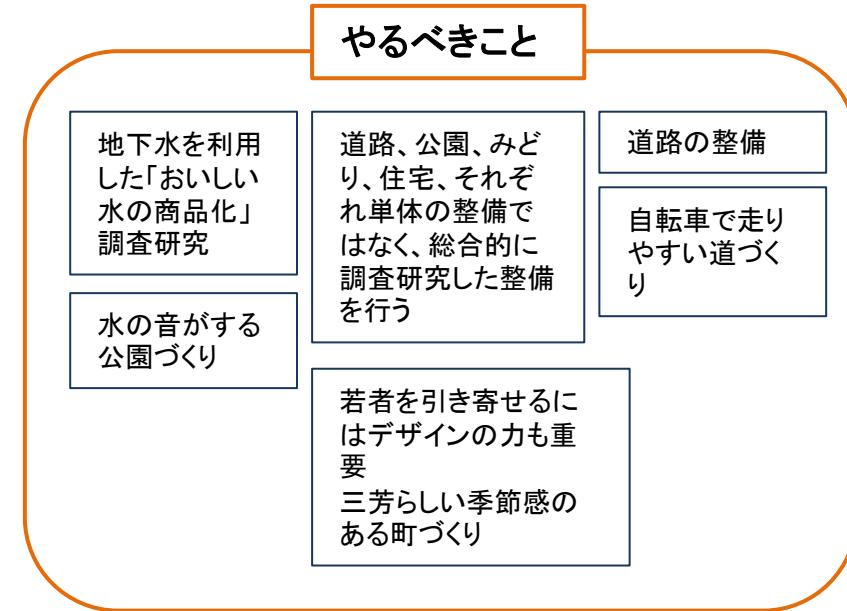
伸ばすところ



変えたいところ



やるべきこと・将来像



伸ばすところ

協まち

地域コミュニティ
自治会の役割を
増強する

住民力の
パワーアップ

まちづくりの計
画でこれから
もネットワーク
作りのまちに
力を一層入れ
る

住民参画
社会貢献目的
のサークル、
ボランティア活
動の更なる活
性化

3回目の成人式
↓
地域デビュー
NPO・ボランティ
ア・趣味・地域・
学習・健康
住民参画

大学等の活
力
淑徳大他と
の連携

協働まちづくり
地域コミュニ
ティ・区・自治
会・条例の作
成

大学等の活力
三芳町内にあ
る大学の教育
力を小・中・高
等学校や高齢
者へ(講義を通
して)

防災

防犯・防災
三芳町は海も山も
川もなく地盤もい
い。そのため災害
に強い地域になっ
ているのでそのこ
とをPRしたらいい
と思う

防災計画
要援護者への
立場・意思に
添った計画の
推進

活動の単位
を地区にし
小さく分け
多くの活動
を図る
防災計画
危機管理体
制

防災施設
国立の防災
拠点を誘致
する

産業経済

企業誘致
川越街道に道
の駅を誘致す
る

産業経済
企業を誘致し
て税収を上げ
る
労働する人が
町に住む

産業経済・勤労者
若い世代にもっと野菜作りなどを体
験させて農業勤労者を増やす

環境

環境美化
雑木林の整備
と活用

環境美化
町の中心部に
大きな公園を
つくる

環境美化運動
を年に4回ほ
どと、今よりも
多くしたらよい
のではないか

環境・環境美化
ボランティア(NPO)
で道路の清掃等
をする

変えたいところ

防災・コミュニ
ティ
自助意識を高
めていく

地域コミュニ
ティ
公民館などで
イベントを企画
する

協働のまちづ
くり・NPO
NPO・その他
のG?をまとめ
て整理する

人口の少ない
町なのでどこ
の地区でも防
犯の火の用心
の声をきく町
にしてほしい

ごみ収集の時
不燃とかその
他として袋を
町で分ける(町
の指定の)

環境
ごみゼロ運動を
もっと増やす

ごみ
ごみの減量
不法投棄

企業誘致
企業の誘致活
動の積極化

若者が働ける
場を多くしてほ
しい

産業経済・農
業
地主と農業作
業者を分け?
(企業化)

さつまいもだ
けではなく町
全体の野菜へ
の注目度UP

観光
観光資源の掘
り起こし

観光のひとつ
としてツルセ
駅前にビジネ
スホテルを
作ってほしい

観光

観光客・ホコリ
菜の花など遊
休農地の活用
で人を集める

観光・企業誘
致
三芳町の住民
が自慢できる
町に

三芳町の場所
がはっきりせ
ず大きな図を
中心点、藤久
保公民館辺り
に作る

観光—観光客誘導
芋ほりなど町内だけ
ではなく他の地域の方
にも参加してもら

やるべきこと・将来像

住民の間の交
流・まちづくり

行政と住民の連携による
まちづくり
交流ができるまちづくり
協働のまちづくり

行政と住民の
連携による協
働のまちづくり

防災拠点を誘致
・地域経済を生かす
・災害に強い、水・野菜
が供給できる空地
・雇用場町の拠点となる

・学校を地域コミュニティの拠
点にする
・災害を前提とするまちづく
りのため避難場所になる学校
と住民の交流、そのための
学校の整備

行政と町民の
連携
出前行政

あいさつや笑
顔のあふれる
協働のまちづ
くり

地域コミュニティの
活性化

住民と行政の連携
強化

区条例をつくる
(地域コミュニティ強
化)

区の会の行政が説
明・情報公開

やるべきこと・将来像

教育は、人づくり

子どもの有意義な時間作りの場を提供できる町

町民参加の小グループのOJT課題はその都度決め、町役場も参加

全ての世代の人々と子供達がいきいきとして「ふれあい」、楽しく生きられるまちづくり「教育」⇒「人づくり」として

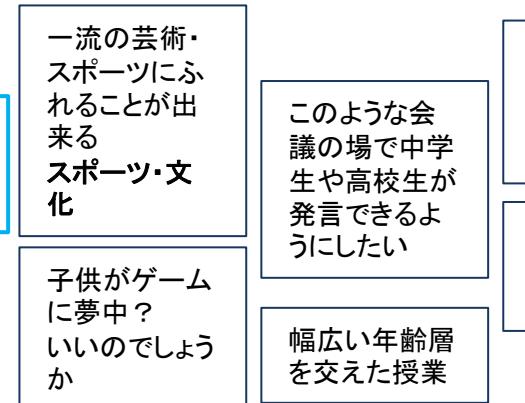
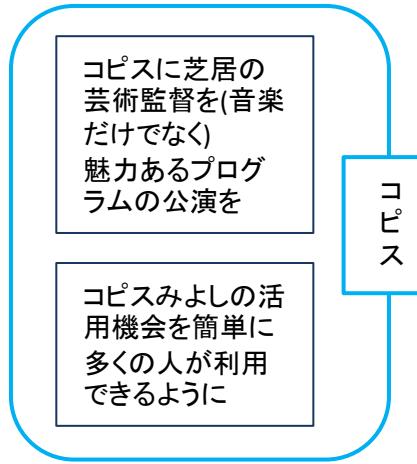
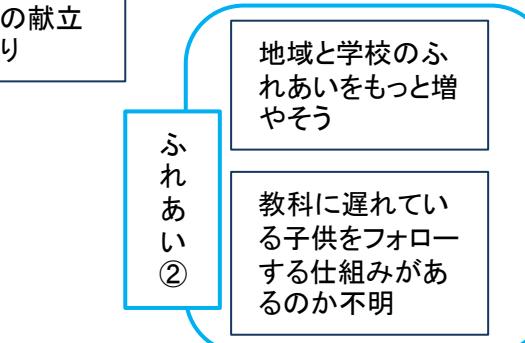
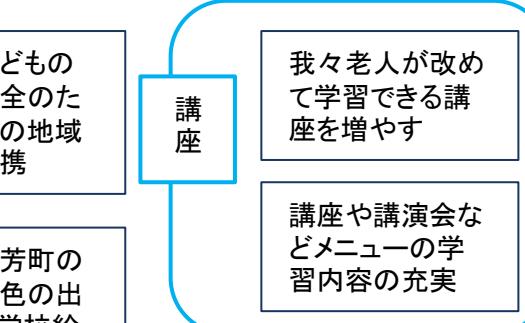
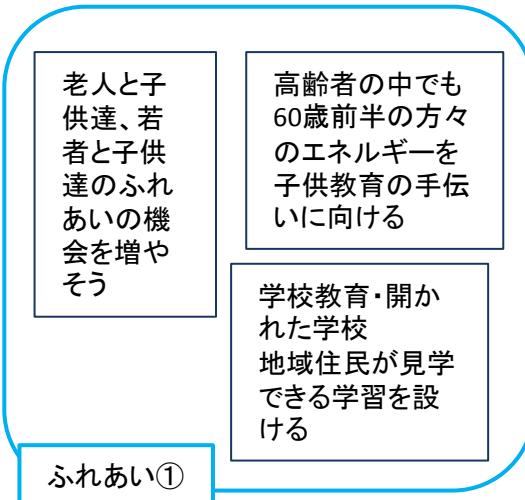
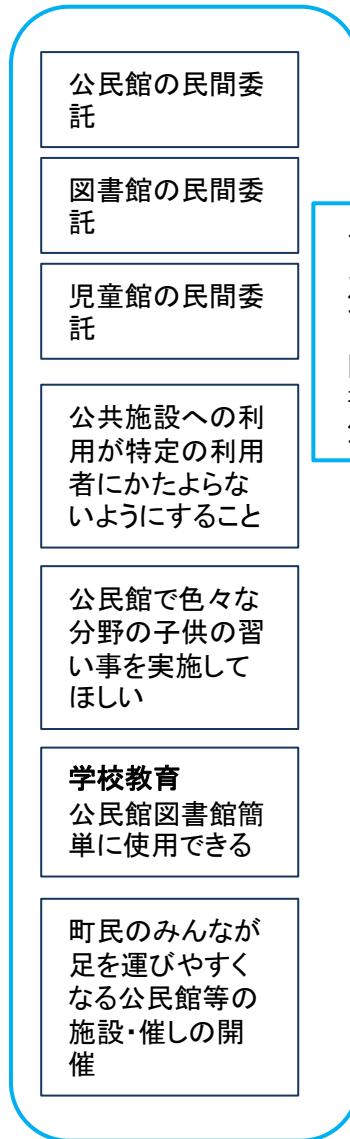
各産業別に講師を招いて授業を実施し、子供達がなりたい職業を広げる

緑豊かな自然環境を持続させるための環境教育・自然体験プログラムが充実した三芳町

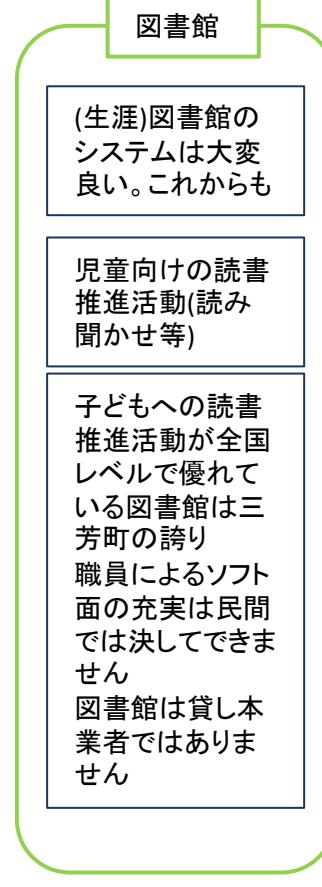
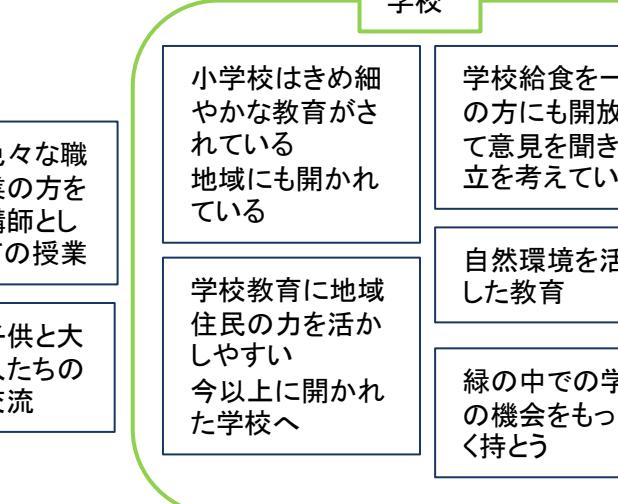
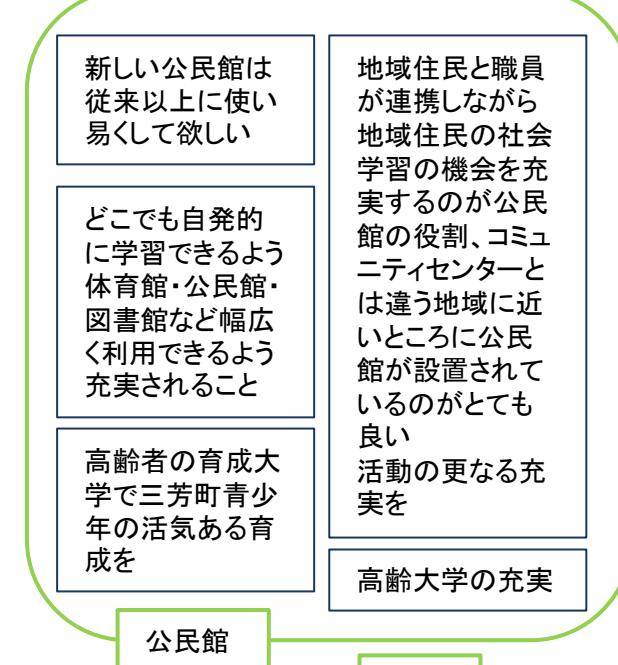
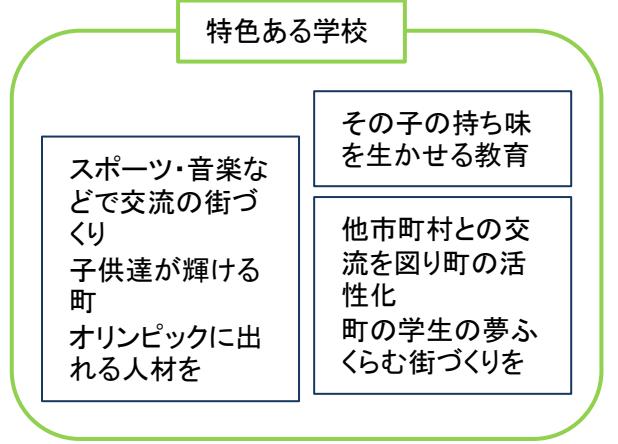
公共施設は一部の人のためのものではなく、みんなが利用したくなる施設にする

自然環境をいかし、公共施設とソフト面の充実
住民と行政、各産業企業の連携
子ども、全ての住民に

変えたいところ



伸ばすところ



100年先の人づくり
(文化に関する意見)

放課後児童対策の充実
各施設への行き来がしやすい交通環境づくり

伸ばすところ

ボランティア活動の推進

- 各自治体の行事
親子参加にてコミュニケーションを図る
- 住民間のつながり
- 地域コミュニティー
高齢者のつどえる場所と交流
- 大学との連携がありよい
と思います
・授業支援、行事等々
- 防犯防災
地域防犯活動
- 高齢者の生きがいとしての
子供達との交流を考える
- 地域コミュニティの活性化

防犯

- 地域防犯活動を
いっそう進める
- 地域での防犯訓練
が行われておりよい
と思います
- 防犯灯の設置(点検を
していただく)
- 子供たちに一声かける
運動を！
地域の見守り
- 大きなゴミでも
収集してくれる(家具等)
- ごみの収集方法
分別等
- 環境の美化
花いっぱい運動の
推進(菜の花、家庭園芸)
- 農業をより
発展させる
- 働ける場所が多い(求人
が多い)
- 観光(多福寺他)の
宣伝(良いところたくさん
あり)
- 観光観光客(外国人)
誘導
- みよし野菜を学校給食
等でも利用しており
よいと思います

変えたいところ

- 地域住民と老人との
交流
- 地域コミュニティ
住民の自治会への
加入促進
- 区制の見直し
リーダーの育成
行政区の区割り
- 大学の活力を！
学生とのミーティング
等の中でお互いに
考える
- 行政に住民の意見
を取り入れる
- 住民中心の防犯
- 夕方になると暗くなり
外灯も少ないところ
がある農家の方も
多くのような工夫が
できるか考えて
いきたい
- 危機管理の拡大
- 環境美化
不法投棄
- 大学等の活力
学生の協力体制を
計る

- 町野菜を使った食品を
製造する企業の誘致
- 農地と企業誘致の
区分を明確にして
税収を得る
- 農業支援グループ化
(人材不足解消)
後継者の育成
- 町野菜を使った加工
品の販売
- 農業ビジネス+観光
ビジネスの運動
- 宝物で人を呼ぶ
青空市場アドバイザー
付レンタル農園
体験観光
- 最高の環境でおもて
なしリピーターの
創出
- 三芳やさしい安全
安心のための努力
(農薬減)
- ブランド品の開発
おいしさを数値化
⇒品質管理⇒信頼
- 商業の活性化
農産物のブランド
と販売ルートの
確保
- 観光成長戦略⇒
金を落としてもらう
ための戦略⇒
観光客を誘致
- 観光事業→新しい
事業の創出・
雇用創出
- 観光事業環境
づくり人づくり
観光＝おもてなし
キャッチをどう
する基本コンセプト

やるべきこと・将来像

- 人が集える活力ある
町づくり
↓
クオリティ・オブ・ライフ
- 農工商の結びつきを
強化
- 認知症になっても
くらす町
- 地域コミュニティの
推進災害があっても
近隣の連携がとれる
町(長野県小谷村に
学ぶ)
- 食を通じた農と
観光の取り組み
共存とバランス
- 高齢者の活用を
多方面にわたり
考える
- 計画されたことを
ひとつずつこなして
さらに光るものを
みつけるそんな
町でありたい

- 食の安全について
- 食について
地産地消のシステム
構築
- お金を出して
行きたい所がない
- 食をアピール・
結びつけた観光
- 「道の駅」による
農産物のブランド化
- インター周辺の
商業地化(インター
内と外との動線
を作る)